



全文検索サーバーFess（フェス）を利用する（IRSME15035）

平成 28 年 1 月 25 日 原田 長州

社内で作成されたファイルを共有サーバーで保管していると、ファイルが増加し目的のファイルを探せないことや探すのに時間がかかることがある。

ファイル名やフォルダ構造を工夫しルールを周知することで情報の散逸を防いだり、Windows 等の OS（オペレーションシステム）付属の全文検索機能を利用したりすることは可能だが、実効性や実行速度などに問題もある。

オープンソースの全文検索サーバーFess（フェス）¹では、ファイルのデータ取り込みや検索をすることができる。どの程度の規模の文書を扱うかによって異なるがファイル数 1,100 個、全体の容量 3 GB 程度の Word ファイルであれば通常の検索ではストレスは感じずパソコン上でファイル名を対象に検索するときよりも数段スピードが速いと感じた。また、Fess の導入は短時間で可能であり、使用しなくなった古いノートパソコンでも運用は可能であった。

■ インストールから運用まで

1. ソフトの概要と特長

全文検索ソフト Fess の特長は、

- Windows 7 などの一般的な OS で運用可能である
(運用時にはパソコンの能力を必要としない)
- ライセンス費用が不要
- 検索対象が豊富（WEB ページ、パソコン内のファイル、サーバー上の共有フォルダなど）
- ファイル形式はオフィス形式ファイルや PDF ファイルなどについても検索可能
- 検索サーバーを社内に構築できるため、社外にファイルを保存しないというセキュリティポリシーであっても運用可能

などが挙げられる。Fess のサイト上には「5 分で構築可能」とあり、サーバーの構築だけの時間であれば確かに 5 分程度で可能であった（その後、実際のサイトやファイルを検索対象とするクロール・インデックス処理には時間が別途必要である）。

¹ オープンソース全文検索サーバー Fess（フェス） <http://fess.codelibs.org/ja/>

平成 28 年 1 月 25 日

(IRSME15035) 全文検索サーバーFess (フェス) を利用する

2. インストールから実際のデータを対象に検索

インストールの詳細は以下のページにまとまっている。

□Fess で作る Apache Solr ベースの検索サーバー ～ 導入編

<http://fess.codelibs.org/ja/articles/article-1.html>

□Fess のインストール

<http://fess.osdn.jp/ja/setup.html>

などが参考になる。

Fess が起動すると管理者用の設定画面が表示される。検索対象の指定が行えるため、設定ファイルを開いて変更するソフトよりも操作しやすいと感じた。

3. 運用

管理者用画面では、検索したい対象のファイルが増えた場合に自動的にクローलする間隔の設定や必要以上にファイルを探索しないための深さ制限などが設定できる。



図 1 管理画面の例

ファイルシステムに対するクロール設定が管理画面から行うことができる

■ まとめ

インストールから検索対象フォルダの設定、試験運用まで通して問題は見あたらなかった。このソフトを商用利用することにおいて制限はない。社内で必要なファイルを探す時間を削減するためには非常に重要な機能を提供してくれるオープンソースソフトであると言える。大規模・安定性を重視するなどの場合には有料の商用サポートサービスも存在するので必要であれば検討したい。(了)